

(概要版)

中1 英語においてコミュニケーション能力の基礎を育成する指導の工夫

—小学校外国語活動を生かした「Jump Up Card」の活用を通して—

高校教育研究係 長期研修員 星野 佐都子

< 研究の概要 >

本研究は、中学校1年の英語学習において、小・中の円滑な接続を図りコミュニケーション能力の基礎を育成することを目指すものである。具体的にはまず小学校外国語活動と中学校で学習する言語材料を体系化した。次に中学校1年に視点を当て、「Jump Up Card」を通し、小学校外国語活動で親しんだ表現を生かし、フォニックスを取り入れた文字と発音の指導、コミュニケーションを意識した文構造の指導と活動場面設定の工夫を行った。

< 研究構想図 >

中1英語においてコミュニケーション能力の基礎を育成する指導の工夫

中1のコミュニケーション能力の基礎とは？

自分の気持ちや身の回りの出来事について伝え合うことができる

目指す生徒像

中1英語において、小学校で親しんだ英語を生かし、コミュニケーション能力の基礎を身に付けた生徒

<小・中を円滑に接続するための指導のポイント>

「Jump Up Card」を通して、小・中の円滑な接続ができるように小学校で親しんだ英語を生かし、発展させながら中学校1年における英語指導を行う。

1. 言葉のやりとりを基にした文構造の導入と語順を意識した指導
2. 文字と発音の学習にフォニックスを取り入れた指導
3. 小学校から中学校へ発展させた英語活動と意欲的に取り組めるコミュニケーション場面の設定

<小学校外国語活動と中学校英語学習の体系化>

- 1 小学校外国語活動の言語材料の洗い出し
- 2 小学校外国語活動と中学校英語科授業との関連付け
- 3 小学校外国語活動から発展させた英語活動の提案

<学校現場の実態>

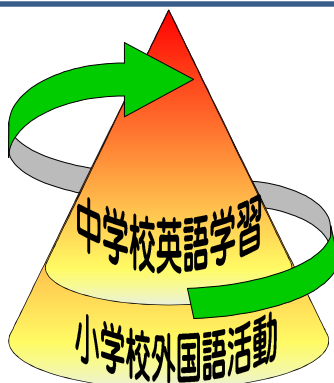
- 小・中の連携が図れていない。
- 英語を正しく書けない、読めない話せない生徒が多い。
- 中学校の英語学習で、つまずきを感じたり、苦手意識をもってしまう生徒がいる。

<教育的課題>

- 時数増に合わせた言語活動の充実と活用の向上を図る。
- 小学校外国語活動実施を踏まえ、小・中の連携を図る。

(中学校学習指導要領解説 外国語編より)

小学校外国語活動って何をやっているのかな？



<授業実践(中学校1年生)では...>

表紙

Jump Up Card の活用 による指導のポイント

1. 言葉のやりとりを基にした
文構造の導入と
語順を意識した指導

2. 文字と発音の学習にフォニックス
を取り入れた指導

3. 小学校から中学校へ発展させた
英語活動と意欲的に取り組める
コミュニケーション場面の設定

Jump Up Card

1st Grade Class _____ 単元の数 Total _____

Name _____ 2. _____

Unit 6 「グリーンカード」

Goal
一般動詞を用いて、自分相対以外のことについて紹介したり、たずねたりすることができる。

1 2
6) 友達や知人(こと)について紹介文や対話文を書くことができる。

5) 相手(こと)について、たずねたりすることができる。

4) 「(2)言えるかな挑戦編」の文(1~15まで)を12以上言うことができる

小学校外国語活動で親しんだ表現チェック項目

2) 「(2)言えるかな挑戦編」(1~4まで)を3以上言うことができる

1) 「(1)言えるかな確認編」基本的な動詞(1~9まで)の表現を7以上言うことができる

(1) 言えるかな確認編

○次の絵を見ながら、英語を書きなさい。

読書をする	リンゴを食べる	リンゴが美味しい
読書をする	自転車に乗る	(猫)を抱っこして遊ぶ
学校に来る	授業を受ける	授業を受ける

ワークシート1
小学校外国語活動の振り返りのためのシート

(2) 言えるかな挑戦編

○次の日本語を英語に書いたら、英文を書くように何度も練習しよう。

英語を書く(日本語を参考に)	日本語	英語	発音	その他
1 青いリンゴが大好きだ。	I like apples.	I like apples.	like	
2 あなたは英語を話せますか。	Do you speak English?	Do you speak English?	speak	
3 ーりんごが好きです。	Yes, I do. / No, I don't.	Yes, I do. / No, I don't.	like	
4 彼女はピアノを弾きます。	You don't play tennis.	You don't play tennis.	play	
5 リアは日本語が大好きです。	She likes Japanese very much.	She likes Japanese very much.	like	
6 彼女はカナダに住んでいます。	She lives in Canada.	She lives in Canada.	live	
7 コウジは中国語を話します。	Koji doesn't speak Chinese.	Koji doesn't speak Chinese.	speak	
8 私はパンを食べます。	I eat bread.	I eat bread.	eat	
9 私は日本語を話します。	I speak Japanese.	I speak Japanese.	speak	
10 私はパンを食べます。	I eat bread.	I eat bread.	eat	
11 私はパンを食べます。	I eat bread.	I eat bread.	eat	
12 私はパンを食べます。	I eat bread.	I eat bread.	eat	
13 私はパンを食べます。	I eat bread.	I eat bread.	eat	
14 私はパンを食べます。	I eat bread.	I eat bread.	eat	
15 私はパンを食べます。	I eat bread.	I eat bread.	eat	

ワークシート2
振り返った表現を新出構文と結び付け、定着させるためのシート

Jump Up Cardを通して、小学校で親しんだ表現を用い、文字と発音の学習、文構造の定着、発展的なコミュニケーション活動を盛り込み、円滑な接続を図りながら、コミュニケーション能力の基礎を育成していきます。

(3) わかるかな

Unit 6 <一般動詞>: 3人称単数が主語の文

三人称で何だろう?

1人称(主語) Kim
2人称(主語) You
3人称(主語) He/She/It/They

ワークシート3
基本文・語順定着のためのためのシート

「Chris先生が通じかかると...」

Do / Does を使って、肯定と否定文を作ろう。

Jump Up Cardに出てくる動物を中心に、みんなにわかる英文にしましょう。(好きなスポーツ、アイドル・スター、歌手、テレビ番組、季節、食べ物など何でも) <英文以上の対話文にしてくださいね。(ただし、あいさつは文脈に記入のせせん)>

【場面】
中学校の休み時間です。あなたは友達のおおくん(さん)と廊下で立ち話をしています。すると、Chris先生が通じかかっています……

生徒A: Hello. 友達の名前。
Yasushi likes soccer very much.
生徒B: Really? I don't know. Does he like volleyball or tennis?
生徒A: He likes tennis. He likes Uchi Zeki.
(O)が通じかかります)
生徒B: Oh, yes. Hi, Chris. Do you like Japanese music?
Chris: Yes, I do.

ワークシート4
発展的学習のためのシート

(5) フォニックスで発音しちゃう

<2文字で発音するルール>

th と ch の発音編

1. th は歯の発音がある
th を発音するときに「ス」が抜けて「フ」になる。
th を発音するときに「ス」が抜けて「フ」になる。

2. ch は口を大きく開けて「チ」になる。
ch を発音するときに「チ」になる。

Challenge 1. どうだろう?
聞こえてくる発音が、右の発音手、chなら左手をあげよう。

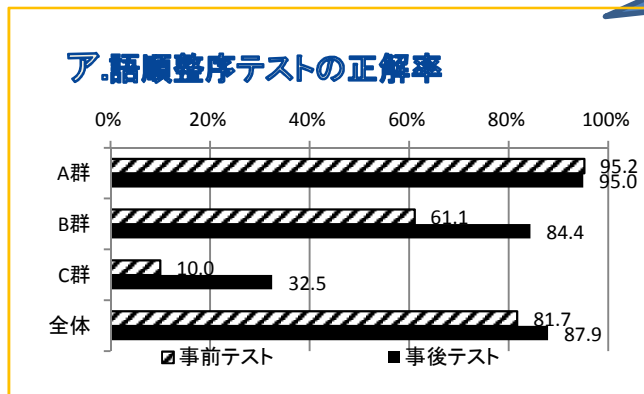
Challenge 2. 次の単語
(1) pen _____
(4) ho _____

※ chには、その他 school や chous (台所)、 echo (こだま、反響、やまびこ) などのように、[k]と発音するものもある。

ワークシート5
発音と文字を結び付けるためのシート

< 研究の結果と考察 >

1. 語順を意識した指導について



抽出生徒群

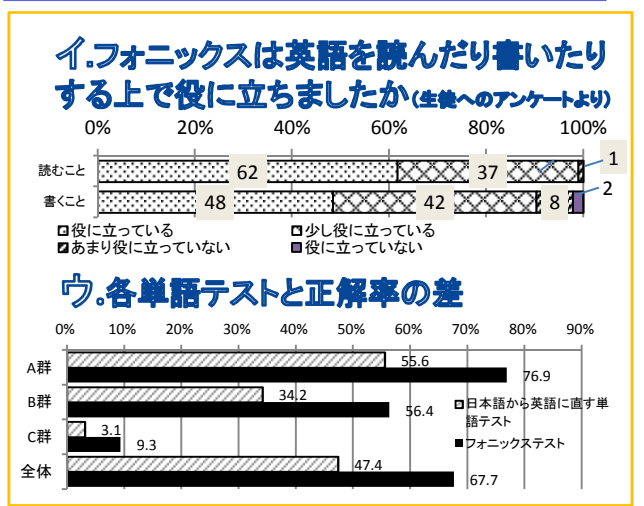
抽出生徒群	事前に行った整序テストの結果
A群	6問中5～6問正解した生徒
B群	6問中3～4問正解した生徒
C群	6問中0～2問だった生徒

ア. 指導前後の語順整序テストの結果で比較すると…
 指導前 全体 81.7% B群 61.1% C群 10.0%
 指導後 全体 87.9% B群 84.4% C群 32.5%

一般動詞の語順指導については「Jump Up Card (1) わかるかな確認編 (2) 言えるかな挑戦編」を活用し、主語と動詞、疑問文や否定文の構造を視覚的にとらえやすいものにし、毎時間繰り返し発音させることにより語順の定着を図った。指導後の語順整序テストでは事前に行ったテストに対し、B群、C群について大幅な増加が見られた。



2. フォニックスの指導について



イ. 「役に立っている・少し役に立っている」と感じている生徒の割合
 読むこと 99% 書くこと 90%

ウ. 各単語テストの正解率の差
 フォニックステスト 67.7% 単語テスト 47.4%

フォニックスの指導を、新出単語についてはフォニックスを意識した導入、また単元の中で学習するth/chの発音については「Jump Up Card (5) フォニックスで発音しちゃおう」を用いて重点的に行った。フォニックスの学習を通し、ほとんどの生徒は「読むこと」「書くこと」における有効性を感じ、単語テストでは日本語から英語を書くテストに比べ、発音を聞いて書くフォニックステストにおいて、正解率が上がった。



3. 小学校外国語活動を発展させたコミュニケーション場面の設定について

生徒のスキット作品

(抽出生徒a)	(抽出生徒b)	(抽出生徒c)
生徒A: Hello, Mikure. Hayato likes math. 生徒B: Pardon? 生徒A: Hayato likes math. 生徒B: Oh, I see. Does he like Japanese? 生徒A: No, he doesn't. 生徒B: Hi, Chris. What subject do you like?	生徒A: Hello, Maehara. Mr. Mito has a pet. 生徒B: Really? I don't know. Does he have a dog or a cat? 生徒A: He has a dog. 生徒B: Hi, Chris. Do you have a pet?	生徒A: Hello, Aki. Ms. Kobayashi likes ARASHI very much. 生徒B: Really? I don't know. Does she like Ono or Sakurai? 生徒A: She likes Ono. 生徒B: Hi, Chris. Do you like Arashi?

本実践では、スキット作りと発表をペア活動で行った。小学校外国語活動で親しんだ表現の絵カードを掲示し、スキットに取り組みさせた。全員の生徒が5文以上のスキットを作成し発表することができた。スキットは、ALTへの質問を含んだものであったので、発表ではALTにも参加してもらい、ALTからの質問にも全員が答えられた。発表や作成を通して、コミュニケーションの楽しさを味わい、コミュニケーションへの意欲が高まった。



成果

- フォニックスの指導により、生徒は文字と発音の関係を理解し、それにより単語を書く力や読む力を高めることができた。
- 語順を意識した指導により、構文理解が深まり、スキット作成においても正しい英文を用いることができるようになった。
- 小学校外国語活動を発展させたコミュニケーション活動により、生徒の学習負担が軽減し、スキットの作成と発表によりコミュニケーションの楽しさを味わい、意欲を高めることができた。

課題

- フォニックスの計画的な指導や指導内容の精選をする必要がある。
- 発達段階に応じたJump Up Cardの内容にしていくことが大切である。
- 小学校間連携、小・中連携の工夫をしていくことが必要である。

<小学校外国語活動と中学校英語材料の体系化>

小学校外国語活動で使用している『英語ノート』の言語材料と中学校英語科各教科書の言語材料を結び付け、体系化する。

中学校英語科
各教科書の
言語材料

英語ノートで扱われている表現（英語ノート1）と関連した中学校英語単元

Lesson 単元名	英語表現 場面	NEW HORIZON	ONE WORLD	TOTAL ENGLISH	SUNSHINE
Lesson 1 世界の「こんにちは」を知ろう	Hello. How are you? — I'm fine. / I'm happy (hungry / sleepy).	How are you? — I'm fine thank you. I am Sakura. Nice to meet you.			Hello, everyone. How are you? — Fine thank you. My name is [] Nice to meet you. Nice to meet you, too. Let's start.
Lesson 2 ジェスチャーをしよう	Nice to meet you. あいさつ 自己紹介	1年 Warm-up 1 あいさつ 1年 Unit 1 あいさつ・自己紹介			1年 P3 ウッド先生がやってきた
Lesson 3 数で遊ぼう	How many? — Two. 世界のジェスチャー	How many CDs do you have? — I have eighty CDs.	How many CDs do you have? — I have five candies.	How many CDs do you have? — I have a hundred CDs.	How many CDs do you have? — I have 10 CDs.
Lesson 4 自己紹介をしよう	Do you like soccer? — Yes, I do. / No, I don't. I like baseball. I don't like blue.	1年 Unit 5 お祭り大騒ぎ Do you play soccer? — Yes, I do. / No, I don't. I do not have a car.	1年 L5 メイの誕生日パーティー Do you like soccer? — Yes, I do. / No, I don't.	1年 L2 先生に聞いてみよう Do you play soccer? — Yes, I do. / No, I don't. I don't like soccer.	Do you like soccer? — Yes, I do. / No, I don't. I don't like soccer.
Lesson 5 いろいろな衣装を知ろう	自己紹介 楽しい				
Lesson 6 外来語を知ろう	What? — Pe. What? — Id				May I help you? — I'll have a hamburger and a cola, please. Which size of cola would you like, small, medium, or large? — Medium, please. Would you like anything else? — No, that's all. May I take your order? 2年 Speaking 3 (ハンバーグを作る) 3年 Speaking 1 (ランチ) What do you like to eat? — I like rice. — I like a rice cracker.
Lesson 9 ランチ・メニューを作ろう	Thank — Y	1年 Unit 4 楽しい昼休み	1年 L2 学校で	1年 L2 先生に聞いてみよう 1年 L4 新しい友達	

小中の連携を図る

小学校
『英語ノート』
から

Lesson 単元名	英語表現 場面	HORIZON
Lesson 1 世界の「こんにちは」を知ろう	Hello. How are you? — I'm fine. / I'm happy (hungry / sleepy).	How are you? — I'm fine thank you. I am Sakura. Nice to meet you.
Lesson 2 ジェスチャーをしよう	My name is Ken. Nice to meet you. あいさつ 自己紹介	1年 Warm-up 1 あいさつ 1年 Unit 1 あいさつ・自己紹介
Lesson 3 数で遊ぼう	How many? — Two. 世界のジェスチャー	How many CDs do you have? — I have eighty CDs.

問い合わせ先 群馬県総合教育センター
担当係: 高校教育研究係 0270-26-9214(直通)